



上智大学創立 100 周年
 上智短期大学創立 40 周年
 上智社会福祉専門学校 50 周年



上智大学短期大学部ソフィア会

No. 27

1. 上智大学短期大学部ソフィア会（以下ソフィア会）

ソフィア会は、上智大学短期大学部（以下短大）の卒業生が母体となって、会員相互の親睦と交流を図り、母校の発展に寄与することを目的に 1976 年に発足した。

短大の卒業生は、2012 年には 1 万人となった。社会環境の変化とともに卒業後の進路は多様化したが、結婚・出産後も、仕事や PTA・ボランティア活動など様々な分野で社会と接点を持ち、活躍する卒業生も多い。ソフィア会は、こうした多岐に渡る卒業生の心の故郷として発足した同窓会である。現在、短大は在学学生 500 余名の小さなキャンパスで、アットホームな暖かさ、教員と学生の親密感や和やかな雰囲気は、短大の良さであり強みとなっている。ソフィア会は、そこで育んだ DNA を後輩に引き継いでいくためにさまざまな活動を行っている。



銀祝の祝典はミサで始まる

2. ソフィア会のさまざまな活動

ソフィア会の活動は、卒業生の交流はもとより、母校ならびに在学学生の支援も積極的に行っている。

○ 卒業生を対象とした活動

（1） 銀祝式典

卒業して 25 年を迎えた卒業生を祝う行事として、2000 年から毎年ソフィアジュニア祭の日程に合わせて、銀祝式典を開催している。当日は銀祝卒業生のためミサが行われ、学長からラテン語で「あなた方は世の光、地の塩である」と書かれた祝状を一人ひとりに授与される。その後、パーティーが開催されている。卒業以来初めてキャンパスを



ハウエル学長(2012 年 7 月 18 日逝去)から祝状を受け取る卒業生(上)と銀祝のパーティー(左)



訪れる人も多く、

当時と変わらない雰囲気を懐かしみ、旧友との再会を喜び合う風景は毎年変わることなく続けられている。

（2） 広報活動

母校のニュースを「短期大学部通信」として卒業生に送付している。この発送のための卒業生名簿の維持管理を短大事務センターの協力のもと行っている。また、2009 年より専用のホームペ

ージを立ち上げ、活動のトピックやニュースを随時更新し、情報提供を行っている。ホームページを媒体に卒業生との双方向のコミュニケーションが活発になるようコンテンツの充実を図っている。

○ 在学生を対象とした活動

(1) 同窓会奨学金

厳しい経済状況が続く中、学業に対する志が高く成績優秀な学生の支援として奨学金制度を運営している。当初は学術奨励賞として教材購入の補助からスタートしたが、現在は授業料の一部支援まで拡充している。学生と父母の経済的負担軽減の一助となることは、ソフィア会一同の願いとなっている。



同窓会奨学金の授与式(上)とキャリア・プランニング講座(右下)

なっている。

(2) 同窓会寄付講座

在学生が将来を描く手助けとして、短大が運営するキャリア・プランニング講座の講師を卒業生がボランティアで受け持っている。毎年各界で活躍する 25 人程の卒業生が、学生のために卒業後の進路・働き方・生き方をそれぞれの経験から講義するというもので、毎年 100 名を超える学生が履修する人気講座となっている。先輩が生の声で後輩に伝える授業という形式は、卒業生が在校生と直接的な接点を持つ貴重な場と

(3) 募金・寄付活動

上智大学創立 100 周年記念事業への寄付活動はもとより、東日本大震災発生後は被災学生支援のための募金活動を行い、短大に寄付している。復興のためには長期的継続的支援が必要であることを念頭に募金活動を継続している。

